2026年度　海水浴場実証実験

成果報告書

～利用実績・利用者分析・地域影響と今後の展望～

2026.11.24　都市・海岸整備課



目次

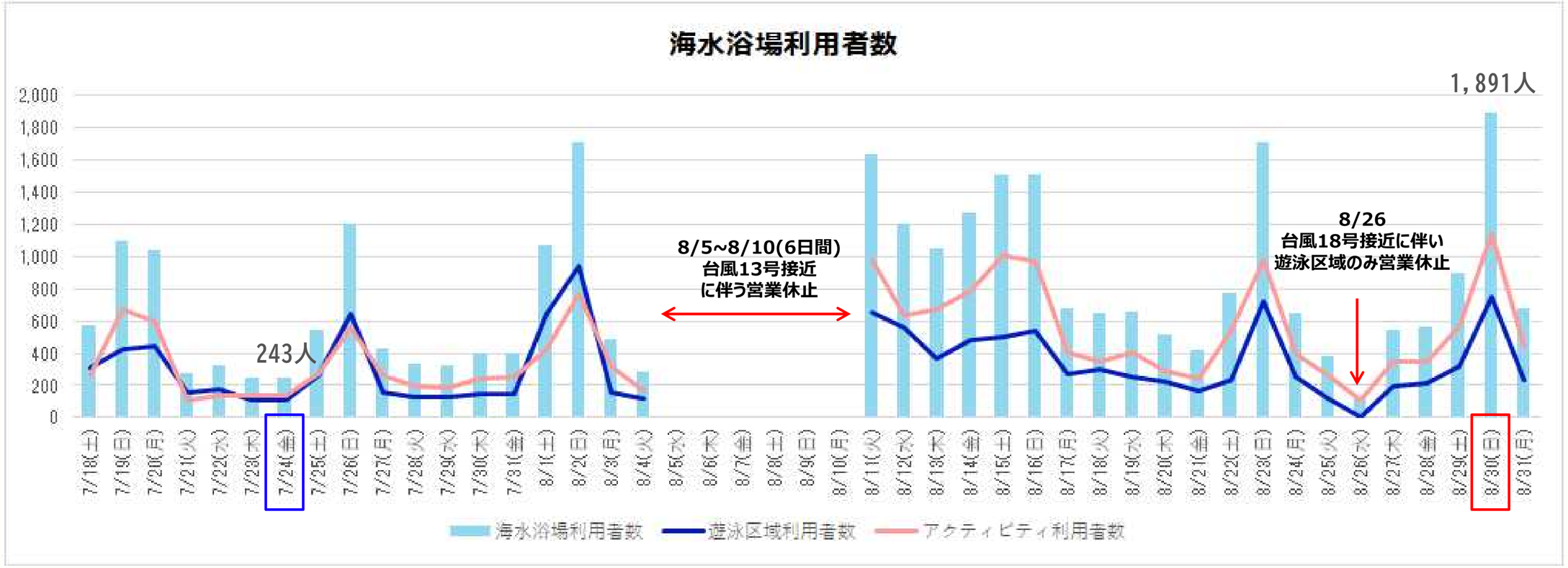
1．実施概要
2．利用実績
3．利用者内訳
4．利用者アンケート
5．住民アンケート
6．事業者アンケート
7．出店者アンケート
8．事故対応状況
9．来年に向けて



実施概要

開設場所	指宿港海岸２工区
開設期間	2026年7月18日(土) ～ 8月31日(月) 45日間 ※海水浴場は、8月5日（水）～8月10日（月）、8月26日（水）の7日間営業休止 ※アクティビティは、8月5日（水）～8月10日（月）の6日間営業休止
営業時間	海水浴場　10：00 ～ 18：00 （監視員3名常駐） 駐車場　9：00 ～ 18：30 アクティビティ　陸上アスレチック　9：30から 最終受付は16：30 45分入替制 水上アスレチック　10：00から 最終受付は17：00 45分入替制 ウォーターバルーン　10：00から 最終受付は17：45 15分入替制
海水浴場の施設	①規模　幅 130m 奥行50m（干満に応じて変わる） 遊泳エリア　幅 60m 最大水深 干潮時：1.5m，満潮時：5.0m ②駐車場　330台（海水浴場前90台、指宿港（太平次公園）240台） ③シャワー　4台（無料） 屋外：男女兼用 2台 屋内：男性用 1台 女性用 1台 ④更衣室　4棟（無料） 男性用：2棟 女性用：2棟 ⑤トイレ　男性用：3基 女性用：4基 ⑥その他　管理事務所、救護室、倉庫
アクティビティ（有料）	①超大型陸上ふわふわアスレチック ②水上ふわふわアスレチック＋ゆらゆら海上ダッシュ ③ウォーターバルーンボール
キッチンカー等の出店数	4～8店舗 （日によって店舗数が変わる）
海水浴場の管理運営	海水浴場：（株）新川床潜水工業 アクティビティ：（株）イノベイト

利用実績



- 総利用者数　30,107人（遊泳区域:12,548人 アクティビティ:17,559人）
- 平日平均　520人（遊泳区域:　216人 アクティビティ:　313人）
  ※　合計が一致しないのは、営業日数に違いがあるため
- 土日祝日平均　1,221人（遊泳区域:　526人 アクティビティ:　695人）
- 日最大利用者数 1,891人（8/30遊泳区域:750人 アクティビティ:1,141人）
- お盆期間の利用者数　3,817人（8/13～8/15）

考 察

・海開きを含む3連休は多く、上々の滑り出しであったが、平日が少なく爆発的な伸びは見られない。
・再開後の8月11日～8月16日に利用者が集中していることからお盆期間中の集客力が大きいことが分かる。前半に比べると後半は増加傾向となり、夏休み最後の日曜日がピークに達した。
・休日の集客力は非常に高いものの、平日の集客の伸び悩みが今後の課題である。

利用者内訳（アクティビティ）

年齢層構成

区分	体験人数	構成比
大人（中学生以上）	7,999名	46.8 %
子供（小学生）	6,221名	36.3 %
親子ペア（未就学児含む）	2,899名	16.9 %
総計	17,119名	100 %

居住地

地域	件数	構成比
鹿児島市	2,529	50.2 %
指宿市	661	13.1 %
霧島市	186	3.7 %
薩摩川内市	165	3.3 %
姶良市	160	3.2 %
その他の県内	688	13.7 %
鹿児島県外	646	12.8 %
総計	5,035	100 %

県外 TOP5（順）

1位：東京都　119　（2.7%）
2位：宮崎県　113　（2.2%）
3位：福岡県　63　（1.2%）
4位：神奈川県　58　（1.1%）
5位：大阪府　44　（0.9%）

考 察

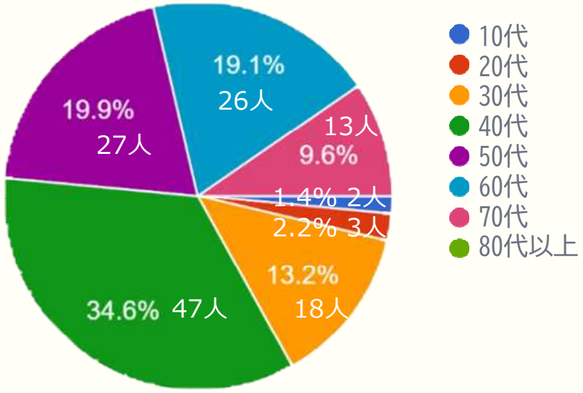
・大人の中には中学生以上が含まれているので未成年を子供として考えると子供の比率はもっと上がり、ファミリーでの利用率が最も高い。

・指宿市以外の利用が 86.9 % であり、特に鹿児島市内からの来場者が多かった。また、県内の利用が87.2 % であることから、県内回遊が中心であった。

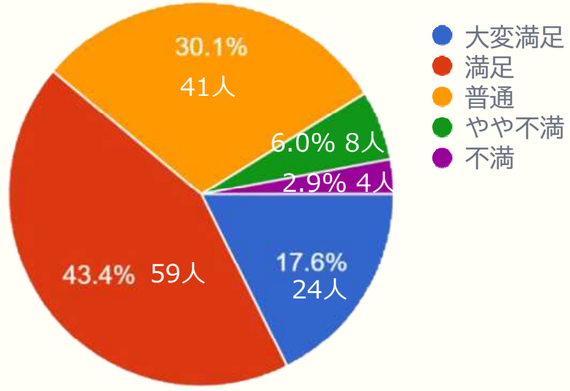
・県外へのPRが今後の来場者数増加の鍵になる。

海水浴場利用者アンケート（136件）

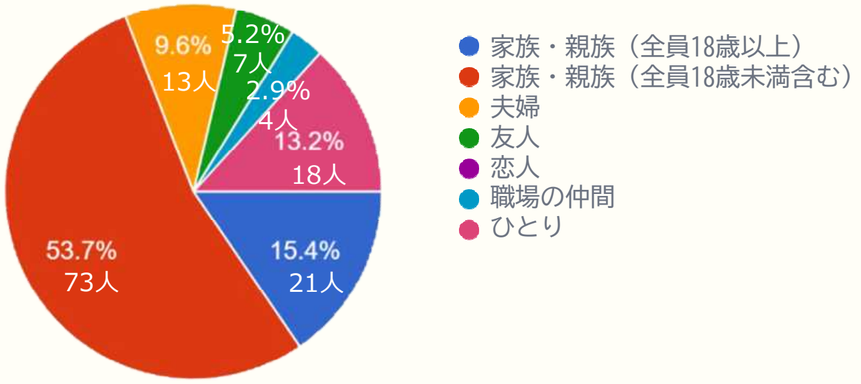
年齢層構成



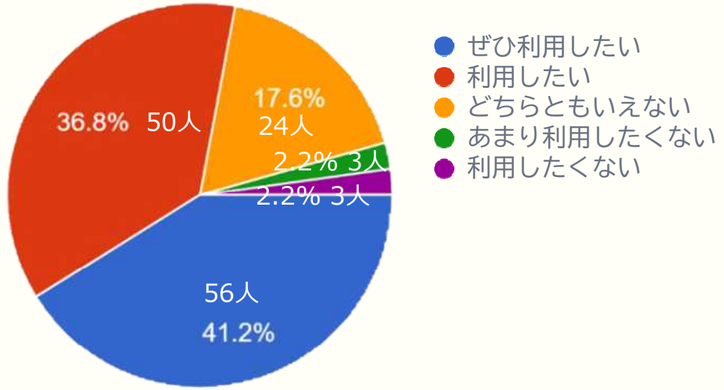
満足度



同行者



継続意向



考 察

・利用者の中心は30代から50代で、約7割が家族連れであった。

・満足度・継続意向ともに高く、満足度は約6割、継続意向は8割近くを占めてる。

・子育て世代のファミリー層にとって「安心して楽しめる場所」として高く評価されている。

高評価の意見

・子どもたちがとても楽しそうでした。毎年海水浴場が開かれたらいいなと思いました。

・指宿の海岸に海水浴場が再開してうれしい限りです。新企画応援しています。

・アスレチック楽しかったです。

改善要望・気づき

・とにかく日陰がほしい。

・小さい子供が遊べるものがあると良いと思います。

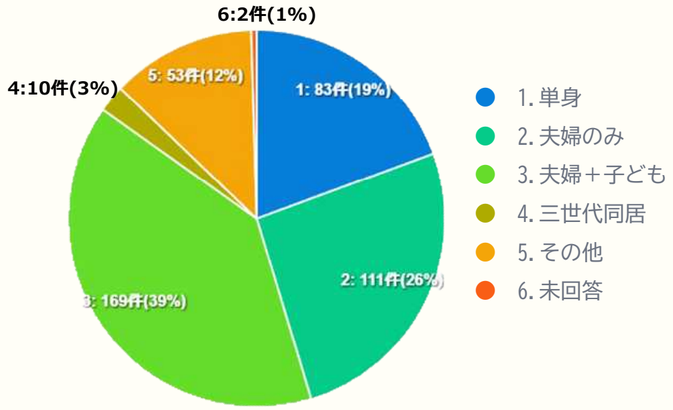
・アスレチック利用料が高いと感じるので、安く利用できるものがあるといいです。

・駐車場の案内が分かりにくい。

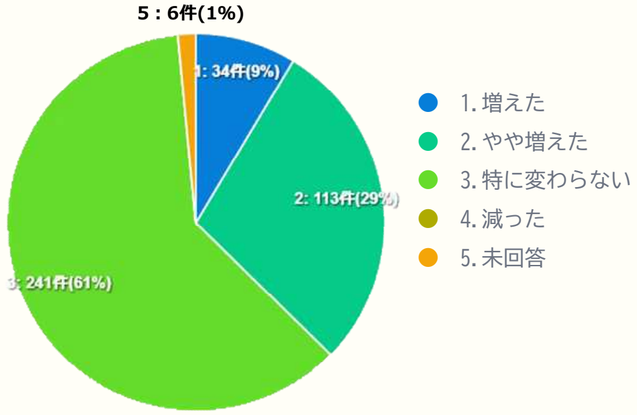
海水浴場周辺住民アンケート（428件）

【内訳】市内：394件　市外：34件　※家族構成、利用状況のみ市外を含む

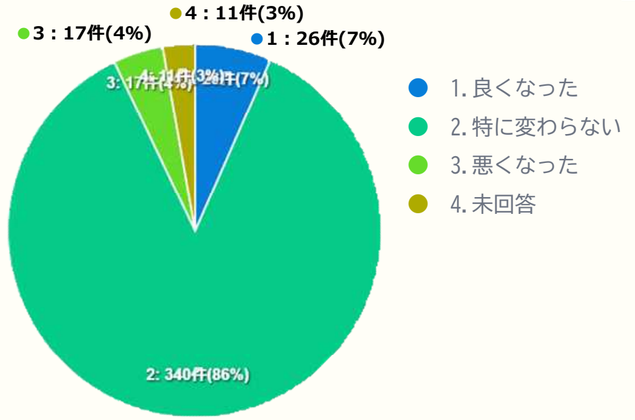
家族構成



交通量の変化



治安や安全面での変化



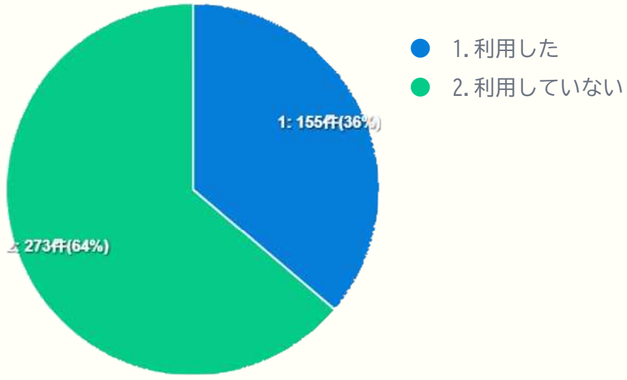
考 察

6割程度が海水浴場を「利用していない」と回答しており、事業が地域生活に与える影響は、主に非利用者の視点から捉えることが重要である。

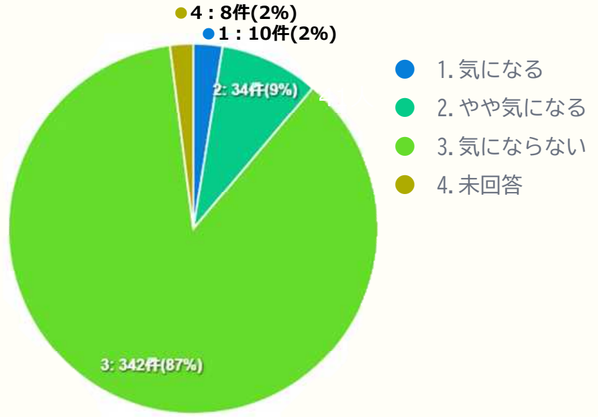
交通量、騒音、治安、ゴミ・美化の各項目において、変化を指摘する回答はごく少数であった。

回答者の大多数は「特に変わらない」または「気にならない」としており、海水浴場事業が住民の生活環境に与えている影響は限定的である。

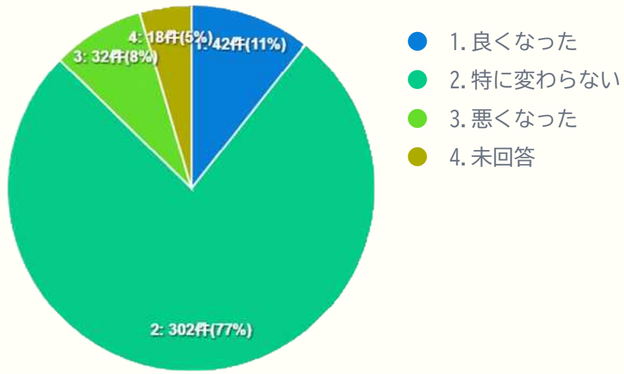
利用状況



騒音の変化



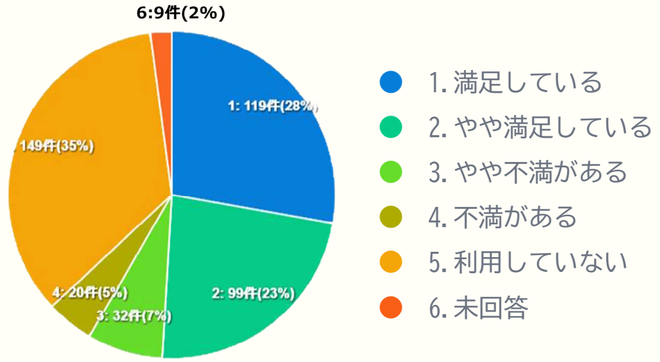
ゴミ・美化状況の変化



海水浴場周辺住民の声

満足度調査結果

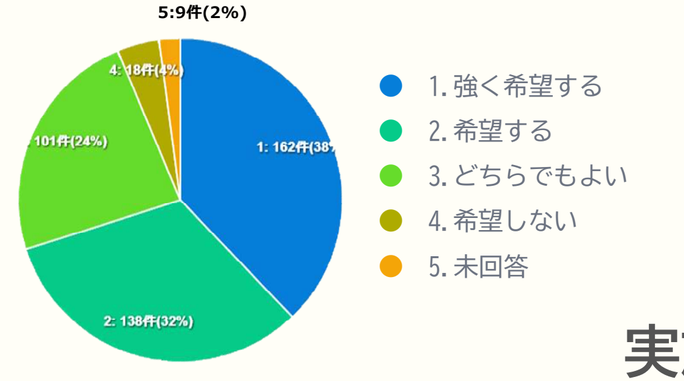
※　● 利用していない を除く



78 %

満足！

継続意向調査結果



70 %

実施してほしい！

高評価の意見

・ただ泳ぐだけじゃなく、遊具がたくさんあり、子供たちや若者が楽しそうに遊んでいるのを見て嬉しく思いました。
・今年の海水浴場は良くも悪くも試してみるという点で挑戦してみることが大変良かったと思います。
・海で泳ぐ機会が無い子供たちにはとても楽しい時間を過ごせる場所が出来て大変嬉しく思います。
・「指宿の海水浴場は良いよね」が広まるにはある程度の継続が必要。

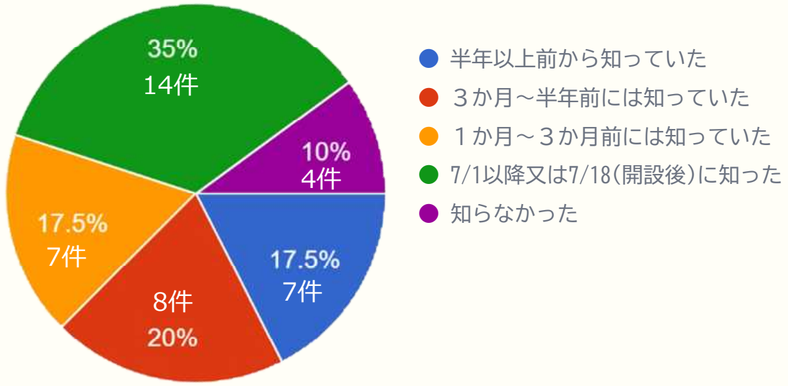
改善要望・気づき

・トイレ、シャワーが少ない。
・日かげが少なかったので増やしてほしい。
・受付付近やシャワー近くに日除けが欲しかった。
・アスレチック利用料金が高い。
・指宿市内の方は安くするなどしたら子育ての方も喜ぶ。
・ポスターを見かけなかったので、ポスターなどでも周知があればいい。
・海水浴場の利用の流れが分かるWebページを用意して欲しい。

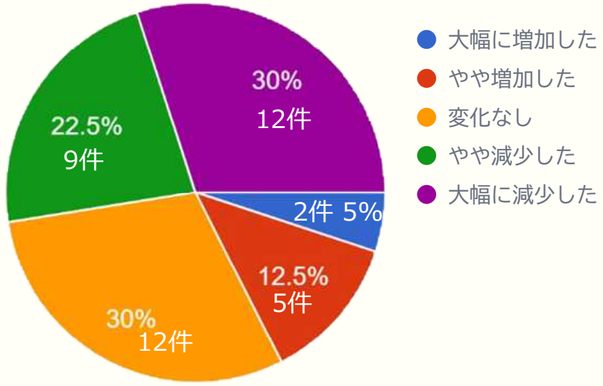
海水浴場周辺事業者アンケート（40件）

【配布先】112件【内訳】宿泊：47件，飲食：35件，小売業：16件，観光：5件，交通：6件，その他：3件
【回収率】35.7%

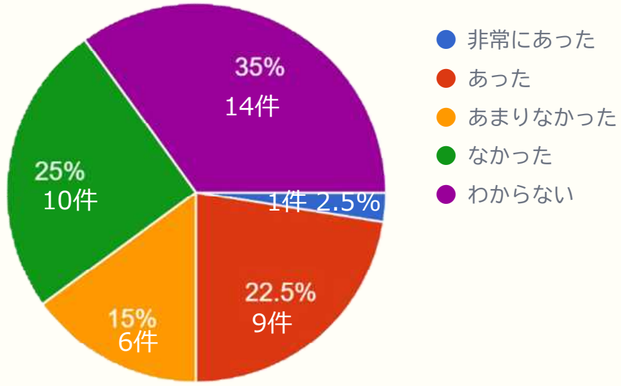
認知時期



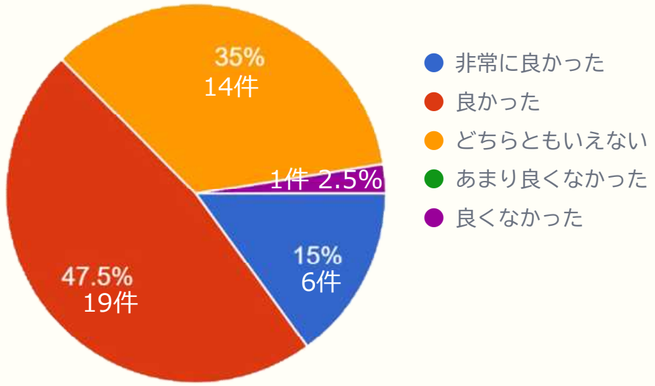
売上の変化



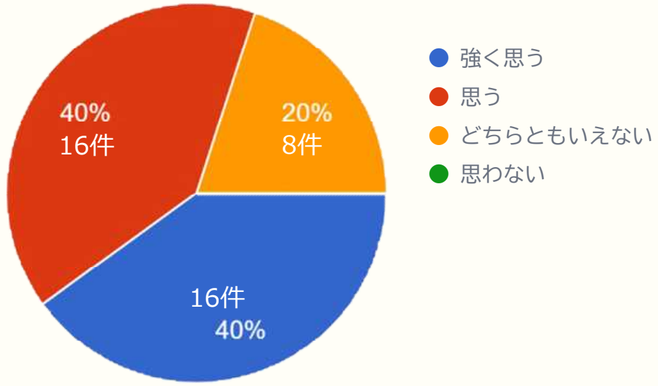
経済効果



満足度



継続意向



考 察

・本事業の認知時期は「開設直前・直後」が35%と最も多く、早い段階での情報発信に課題があったことがうかがえる。
・売上については「減少した」との回答が52.5%と「増加した」の17.5%を上回り、75%が「経済効果はなかった」と回答するなど、直接的な恩恵を実感できた事業者は限定的であった。主な理由は、熊本地震の影響が挙げられていた。
・一方で、こうした厳しい評価にも関わらず、満足度は62.5%に達し、80%が事業の継続を望んでいる。
これは事業の将来性に対する期待の表れと考えられる。

海水浴場周辺事業者の声

事業者の皆さまから、今後の改善に向けた貴重なご意見をいただきました。

事業者が感じた期待

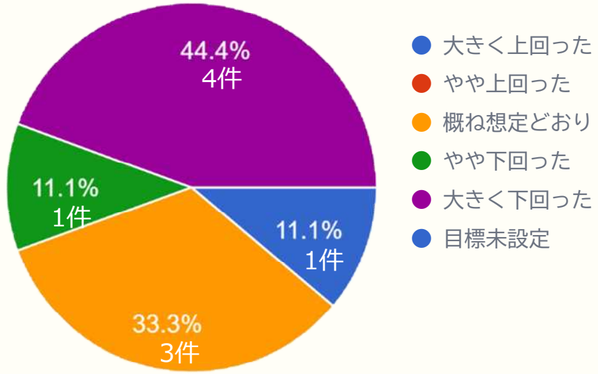
・指宿駅から砂楽にかけての賑わいに繋がることを期待します。
・とにかく継続。
・今年だけでなく、来年以降も実施する事で県内外にも認知が広まると思うので、今後もぜひ続けてほしい。
・指宿の新しい夏の観光スポットになることを期待しています。
・周辺事業の経済的向上に期待します。
・夏、海水浴、ビーチ、トロピカル（レトロピカル）などの夏ワードから指宿を連想してもらえるような街に。
・継続することで認知度も上がりお客様も増えていく、そうすると自然と地域にも経済効果が出てくる。継続して、夏は指宿というイメージをつくる。

課題・改善要望

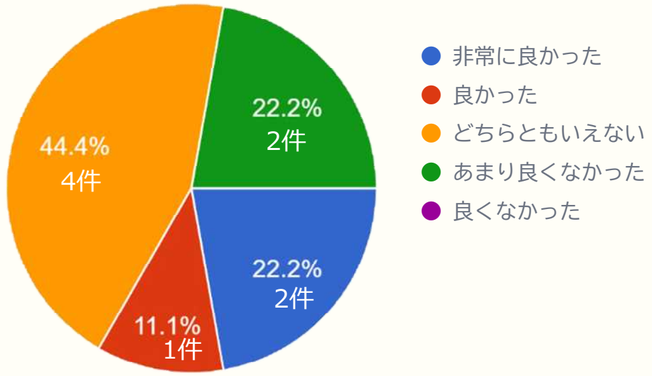
・宿泊施設、飲食店との連携（交通関係含む）。
・金額が高いという声が多い。事業者だけでなく指宿全体にまずは一歩。
・海水浴場だけで完結して周辺への波及効果が未だなかった。
・海水浴場をやるという話自体、ものすごく唐突に決まった印象がある。
・あちこち利用者のことがまったく考慮されていないともいえる印象を持つ箇所もあった（飲食物を食べるスペースや保護者が休む場所など）。
・高額なレンタル費用がかかるアクティビティ等で無理矢理客寄せをするより、細々とでもいいから指宿の海そのもので過ごす時間を大切にできる海水浴場を目指すべき。

海水浴場出店者アンケート

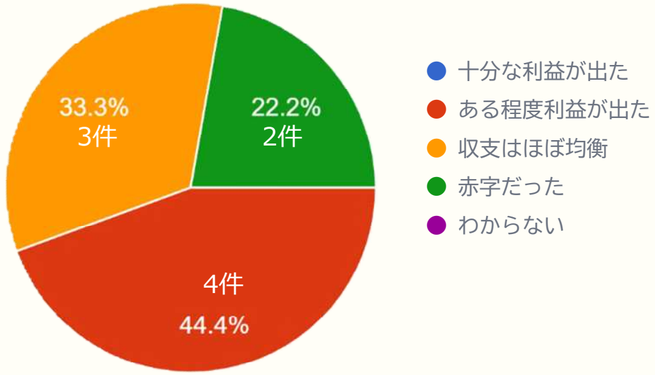
売上達成状況



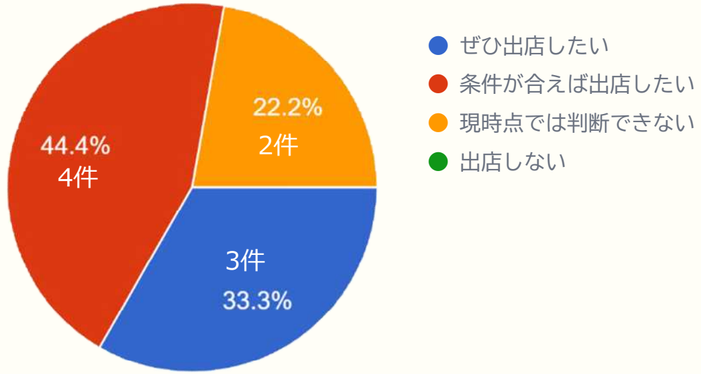
満足度



収　支



出店意向



考　察

売上目標達成状況は「下回った」との回答が最多（5件）であったが、収支では「ほぼ均衡」または「利益が出た」（7件）を占め、多くの出店者が堅実な運営ができていたことがうかがえる。

満足度においても「あまり良くなかった」（2件）という意見に対し、「非常に良かった」（2件）と「良かった」（1件）を合わせた肯定的な評価が上回っている。

この安定した収支と一定の満足度が、来年度の出店意向が7件と高い水準を維持している主な要因と推察され、事業の継続性は高いと考えられる。

一方で、赤字となった出店者（2件）や条件付きの出店意向もあるため、個別の課題を把握し、出店条件などを改善していくことが、全体の満足度をさらに引き上げ、事業をより発展させる上で重要であると考えられる。

海水浴場出店者の声

海水浴場内で出店いただいた事業者の皆様を対象にアンケートを実施。
来場者の反応や出店運営上の改善提案について率直なご意見をいただきました。

今後に向けての提案

・第一のターゲットとしては、鹿児島県域の集客、次に地元で仕組みを取り組んでいくことは大事。
・海水浴以外でのイベント実施（ダンス、DJ、太鼓、ビーチバレー大会、スイカ割りイベントなど）
・花火大会やミニイベントなどあればロケーションも良く素晴らしいと思う。
・続けていくことが今後、より指宿に海水浴場があると認知していくので、継続していくことが大事。
・ビーチバレー大会やビーチフラッグなどイベントを企画して、海岸へ来客する機会を増やす。

課題・改善要望

・もう少し早めの情報解禁が必要。前半に比べ、後半は利用客が増えている気がしたので。
・ゴミが多いので、海水浴期間中にごみ箱を設置するのが良いのではと思う。
・混雑時に日よけがなく困っていた来場者もいたので、パラソル貸し出しがあればいいと思う。
・アクティビティの価格を利用しやすいように、価格設定の見直しが必要と感じた。利用者からの不満の声も多かったので。

事故対応状況

アクティビティ

発生日	対象者	発生場所	内容
7/25	お子さま	陸上アスレチック ジャンプ台	打撲
7/31	お母さま	陸上アスレチック 1レーン目	左膝外側 骨折
8/2	お母さま	陸上アスレチック ジャンプ台	胸椎 圧迫骨折
8/11	お母さま	陸上アスレチック ジャンプ台	第一腰椎 骨折
8/19	お子さま	陸上アスレチック すべり台	左足首 ヒビ
8/23	お子さま	陸上アスレチック 4レーン目	左足小指基部 骨折
8/25	おじいさま	陸上アスレチック 3レーン目	股関節 捻挫
8/30	お母さま	陸上アスレチック ジャンプ台	腰椎 胸椎 圧迫骨折

件数：8件

発生率 8／17,559 ≒ 0.04 %。

全件 陸上アスレチック。ジャンプ台に 4件集中（うち骨折3件）。

特に子どもと一緒に遊んでいた保護者のケガが目立つ。

他地区と比較して保護者もアクティビティ体験をしている人数が多い。

全て保険対応。

遊泳区域

発生日	対象者	内容
7/24	大学生	水深2m地点で浮き輪から落ちて溺れる。 【対応】 監視員が発見し救助、海水を飲んでいたため浜辺で落ち着くまで監視員が付き添い様子を見る。 （脈を測り水分補給を実施） 家族で来場していたので家族に引き渡す。
8/1	小学生（低学年）	小学生(低学年)が浅瀬(水深0.5m)で溺れる。 【対応】 監視員が発見し救助、少量の海水を飲んだ程度だったのですぐにまた遊ぶ。

件数：2件

発生率 2／12,548 ≒ 0.02 %。

【参考】

8/1頃からクラゲが発生し、海水浴客約10名程度処置を行った。

【対処】

海水で洗い流し除菌シートで拭き取る。

定期的に監視員がサップで海面を捜索しクラゲを発見したら捕獲していた。

来年に向けて

今年度の海水浴場実証実験を通じて、総利用者数30,107人を達成し、特にお盆期間や夏休み終盤の休日における高い集客力が実証されました。来場者の約87%が県内からの来訪であり、鹿児島市を中心とした県内回遊型の観光拠点としての可能性を示すことができました。

一方で、平日の集客の伸び悩み、県外へのPR不足、アクティビティ料金に対する割高感、日陰・休憩スペースの不足といった課題も明らかになりました。

利用者・住民・事業者・出店者のいずれからも、事業の継続を望む声が多数寄せられており、「継続することで認知が広まり、地域全体への経済波及効果につながる」という期待が共通して示されました。

来年度に向けては、早期からの情報発信と広報強化、周辺宿泊・飲食施設との連携促進、ファミリー層が安心して過ごせる設備・環境の充実を図り、「夏といえば指宿」というイメージの定着を目指してまいります。

これらの取り組みを実現するためには、地域住民の皆様、事業者の皆様のご理解とご協力が不可欠です。来年度も皆様とともに、より安全で魅力的な海水浴場を作り上げてまいります。心よりご支援をお願い申し上げます。



指宿市役所都市・海岸整備課指宿港海岸整備係
0993-22-2111（内線：2365）
toshi@city.ibusuki.jp

レトロピカル指宿 RETROPICAL IBUSUKI